

2021年度_環境経営レポート

発行日_2022.7.31

運用期間_第39期_2021.4.1-2022.3.31



株式会社総合土木コンサルタンツ

目次

【PLAN】

1. 組織概要_P3-5
2. 環境経営方針_P6
3. 当年度及び中期環境経営目標_P7
4. 環境経営計画_P8

【DO】

5. 実施体制と役割分担_P9-10
6. 環境活動状況
 - 6-1. 社内環境活動状況_P11-16
 - 6-2. 地域環境活動状況_P17

【CHECK】

7. 環境関連法規などの遵守状況_P18
8. 環境活動の実績
 - 8-1. 環境経営計画の達成状況_P19
 - 8-2. 環境経営目標の達成状況_P20
9. 環境活動の取組結果・評価_P21-22
10. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画
 - 10-1. 次年度環境経営目標_P23
 - 10-2. 次年度環境経営計画_P24

【ACT】

11. 代表者による全体評価と見直し結果_P25

【PLAN】

1. 組織の概要

事業所名 株式会社総合土木コンサルタンツ

代表者氏名 代表取締役 佐々木 知徳

所在地

本社 〒021-0902 岩手県一関市萩荘字金ヶ崎 3 3 番地 1
TEL_0191-24-2487 FAX_0191-24-3334 URL_https://www.sogodoboku.co.jp e-mail_sogo@sogodoboku.co.jp

盛岡営業所 〒020-0122 岩手県盛岡市みたけ 4-4-2 0
TEL_019-646-9933 FAX_019-646-9911

奥州営業所 〒023-0841 岩手県奥州市水沢真城字中道 1 番地 3-2-4 0 6
TEL_0197-22-3900 FAX_0197-48-0197

北上営業所 〒024-0021 岩手県北上市上野町 4 丁目 1 3-3 0
TEL_0197-61-4161 FAX_0197-61-4162

遠野営業所 〒028-0521 岩手県遠野市材木町 1-2 9
TEL_0198-60-2025 FAX_0198-78-0032

東磐営業所 〒029-0801 岩手県一関市千厩町清田字鳥喰 4 4-2
TEL・FAX_0191-52-4160

釜石営業所 〒026-0055 岩手県釜石市甲子町第 5 地割 1 4-1-1-5 0 2
TEL_0193-27-8865 FAX_0193-27-8866

大船渡営業所 〒022-0002 岩手県大船渡市大船渡町字赤沢 8 5-1-4 0 6
TEL_0192-47-3936 FAX_0192-47-3966

宮古営業所 〒027-0203 岩手県宮古市津軽石第 1 3 地割 4 6 9-B
TEL_0193-77-3970 FAX_0193-77-3980

宮城営業所 〒989-5144 宮城県栗原市金成中町 4 1
TEL_0228-57-4231 FAX_0228-57-4322

二戸営業所 〒028-5312 岩手県二戸郡一戸町一戸字北館 1 1 7-2 2
TEL_0195-26-9700 FAX_0195-26-9701

【PLAN】

1. 組織の概要

環境責任者及びE A21事務局

環境責任者 黒墨
E A21事務局 小宮

事業規模

設立年月日 1983年4月27日
資本金 20,000,000円
従業員数 25名
事業年度 4月1日～翌年3月31日

事業内容【登録】

建設コンサルタント_(道路部門,土質及び基礎部門)_ 建01 第6619号
補償コンサルタント(土地調査部門,物件部門,営業補償・特殊補償部門,事業損失部門,補償関連部門) 補29第4132号
測量業者_第(8)-13831号
地質調査業者_質30 第2124号

認証登録範囲

登録対象の範囲 株式会社総合土木コンサルタンツ全組織・全活動

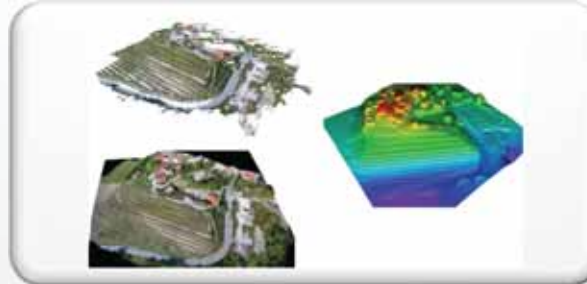


株式会社総合土木コンサルタンツ



土木設計

- 道路設計
- 河川砂防
- 斜面防災, 道路防災
- 農業土木設計
- 開発行為許可申請



測量調査・用地補償

- 地上測量全般及び各種台帳作成
- 高精度レーザートロンによる三次元測量
- 土地調査部門, 物件部門, 事業損失部門
営業補償・特殊補償部門, 補償関連部門



土質・地質調査

- 地質調査
- 物理探査
- 地すべり調査
- 地下水調査
- 土質試験

【PLAN】

2. 環境経営方針

環境経営理念

株式会社総合土木コンサルタンツは社会・環境貢献活動に積極的に取り組み
事業活動において環境に与える影響を的確に捉え、地球環境の保全と環境負荷の低減に取り組みます。

環境方針

- 環境目標を定め、よりよい環境水準を目指すため、必要に応じて見直しを図りながら環境経営システムの継続的改善を図ります
 - • 二酸化炭素排出量の削減に努める
 - • • 電気使用量の削減を行う
 - • • 化石燃料（ガソリン）使用量の削減を行う
 - • 廃棄物の削減・再利用・再資源化に努める
 - • 水道使用量を削減に努める
 - • 環境に配慮した工法の提案に努める
- 適用可能な環境関連法規及び組織が同意する要求事項を遵守します
- 環境活動に積極的に参加し、豊かな地域社会の実現に貢献します
- 組織で働く又は組織の為に働く全ての人に環境方針を周知徹底させます
- 常に地域とコミュニケーションをとり理念や情報を発信します



2021年4月1日 制定
株式会社総合土木コンサルタンツ

佐々木 知徳

【 PLAN 】

3. 2021年度及び中長期環境経営目標

項 目	単位	基準年度実績		中期目標（3年）					
		2020.4.1～2021.3.31		2021.4.1～2022.3.31 基準年比 1% 削減		2022.4.1～2023.3.31 基準年比 2% 削減		2023.4.1～2024.3.31 基準年比 3% 削減	
		実績	CO2排出量		CO2排出量		CO2排出量		CO2排出量
二酸化炭素排出量の削減	CO2 総排出量		71,342		70,629		69,915		69,202
	電力1_東北電力	kwh	22,323.0	11,787	11,669		11,551		11,433
	電力2_低圧_東北電力	kwh	44,642.0	23,571	23,335		23,100		22,864
	電力3_盛岡_東北電力	kwh	2,663.0	1,406	1,392		1,378		1,364
	ガソリン	L	14,581.2	33,828	33,490		33,152		32,813
	軽油	L	0.0	0	0		0		0
	灯油	L	184.1	458	454		449		445
	液化石油ガス(LPG)	kg	97.3	292	289		286		283
廃棄物の削減・再資源化	可燃物	kg	120.0		118.8		117.6		116.4
	リサイクル	kg	780.0		※1		※1		※1
	産業廃棄物総排出量	kg	200.0		198.0		196.0		194.0
	中間処理量	kg	0.0		-		-		-
	うち再資源化量	kg	0.0		-		-		-
	最終処分(埋立)量	kg	200.0		-		-		-
水削減	水使用量	m ³	189.0		187.1		185.2		183.3
自らの改善	環境配慮	-	環境効果の高い資材や工法の情報収集を積極的に行い、エコマテリアル(自然素材・リサイクル資材)使用の提案を行う						
	会社周辺の清掃	1回/月	社屋周辺の清掃を行う						
	地域貢献活動	2回/年	本社周辺のごみ拾いを行う、地域活動にも積極的に参加する。						
管理	フロン点検	4回/年	四半期ごとの点検表を活用し簡易点検の実施 ※ 有資格者による定期点検_3年に1回_日本ビルコン㈱に依頼						

※1 リサイクル排出量(廃紙、シュレッダー、ダンボール、雑誌、新聞、空き缶)に関しては目標を定めないものとする

※ 電力の二酸化炭素排出係数は、東北電力の0.528(kg-CO2/kwh)を用いた

【PLAN】

4. 環境経営計画

取組目標		活動内容	活動計画				定期的な評価(上半期/全期間)	担当
			4~6	7~9	10~12	1~3		
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量	エアコンの設定温度管理_夏季28℃, 冬季20℃ サーキュレータを効果的に活用し空気循環 LED照明への随時取り替え 不要な照明の消灯 不要な電力消費抑制 (未使用時のプリンター, 外出時のPC) クールビズ・ウォームビズの励行	エアコン使用時 常時実行 随時導入 通年実行					営業部
	ガソリン使用量	エコドライブの励行 ・アイドリングストップ ・急発進、急停車の防止等 ・走行ルート、配車計画の合理化 ・不要な荷物の積載禁止 エコカーへの随時入れ替え 月に1回、車両点検の実施	通年実行					安全運転管理者
産業廃棄物の削減・再利用・再資源化		電子機械の利用によるペーパーレス化 裏紙利用、両面印刷推進 リサイクル可能な紙類の収集 ・シュレッダーの活用 ・雑紙の分別による一般廃棄物の低減 資材の在庫管理 コア箱の保管管理	通年実行					各部
水使用量の削減		水を出したままにしない 水漏れ点検の実施	通年実行					総務部
自らの改善 ビ	環境に配慮した工法の提案	設計業務にあたり、環境効果の高い資材や工法の新情報を入手するため、研修や講習会に積極的に参加する エコマテリアル(自然素材・リサイクル資材)使用の提案 現場発生材の積極的な利活用(軟弱土の再利用)	通年実行					設計部
	会社周辺の清掃	月に1回、社屋の清掃を行う	通年実行					測量補償部
	地域活動への参加	外部からの依頼や要望、市が実施する環境保全に関する施策(イベント)に協力・参加する	通年実行					地質調査部
緊急事態への対応		AED(心臓救命装置)使用訓練 心肺蘇生(人工呼吸)等の訓練 避難訓練の実施 消火器の使い方、保管場所の確認 災害時連絡体制の整備 防災備蓄用品、非常用トイレの順次導入	年に1回					安全衛生管理者

※1 コロナの為活動自粛

日常的に行っている活動

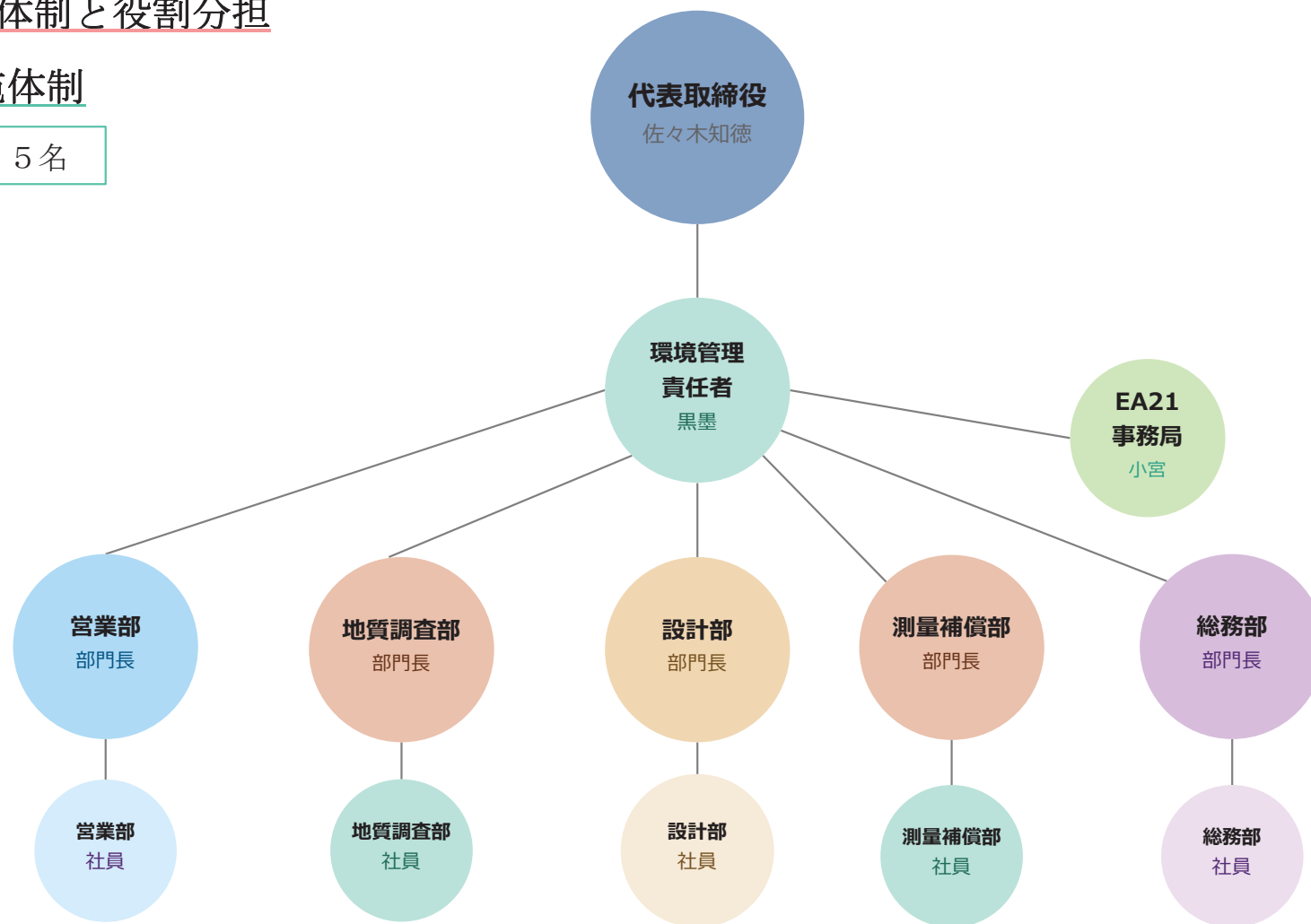
管理	消火設備点検	消火器の使用方法・耐用年数の確認 熱感知器の確認						総務部 株セコム
	フロソ定期点検	四半期ごとの点検表を活用し簡易点検の実施 ※ 有資格者による定期点検_3年に1回_日本ビルコン株に依頼						総務部
	社員への周知徹底 意識改革	ごみの排出量の報告 一年分の活動実績の報告 環境活動を促すポスター等の掲示						EA21事務局

【 DO 】

5. 実施体制と役割分担

実施体制

総員 25 名



盛岡営業所、奥州営業所、北上営業所、遠野営業所、東磐営業所、釜石営業所、大船渡営業所、宮古営業所、宮城営業所、二戸営業所

役割分担

責任者	役割・権限	
代表取締役	経営における課題とチャンスを確認にする	環境経営方針の策定及び見直し周知徹底
	環境経営システムに関する統括責任者	環境経営システムに関する実施体制を構築
	環境経営システムに必要な資源の準備	環境経営目標・環境経営計画書を承認
	代表者による全体の評価と見直し・指示を実施	環境経営レポートの承認
環境管理責任者	環境経営システムの執行責任者	環境関連法規等の取りまとめ表を承認
	環境経営目標・環境経営計画書の確認	緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括
	環境活動の取組結果を代表取締役へ報告	環境経営レポートの確認
EA21事務局	環境管理責任者の補佐、EA21事務局	環境負荷の自己チェック及び環境活動の実績集計
	環境経営目標、環境経営計画書原案の作成	環境関連法規等取りまとめ表の作成
	環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施	環境経営レポートの作成、公開（地域事務局への送付と自社HP掲載）
部門長	自部門へ環境経営目標の周知	自部門に関する環境活動計画の実施及び達成状況の報告
	自部門の想定される事故及び緊急事態への試行・訓練を実施、記録の作成	外部・内部（苦情・要望等）コミュニケーション窓口
	自部門の問題点の発見、是正・予防処置の実施	
全社員	環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚	決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加
協力会社	環境経営方針の理解と環境経営への積極的参加	

【 DO 】

6. 環境活動状況

6-1 社内の環境活動状況

照 明

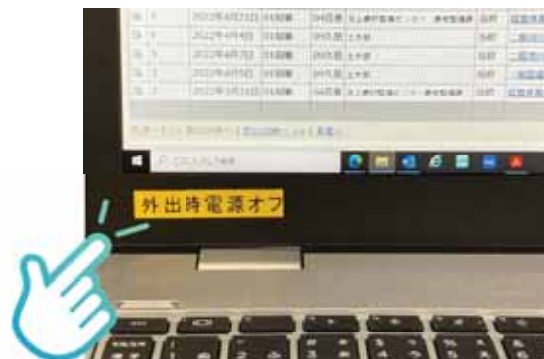
社内でも最も電力が必要とされる設計部・測量補償部の照明は、晴天時はブラインドを開け日の光を活用し外出時は不要な照明はこまめに消灯できるように配置しています。

順次、LED照明の導入を心掛けております。



PCの電源

業務においてパソコンが必要不可欠であり業務の大半がパソコン作業になります。その為外出時や長時間パソコンを使用しないときはこまめに電源を切るように心がけてます。



エアコンとサーキュレーターを活用

環境省が推進している空調使用時の室内の温度【夏季28℃、冬季20℃】を遵守するよう心がけております。

また、サーキュレーターを使い冷暖房の効率を上げ空気循環に心掛け定期的に喚起を行っております。

冷暖房に頼りすぎないクールビズやウォームビズも実施しています。



空気清浄機・加湿器の活用

室内で快適な湿度は40～60%とされています。40%以下になると目や肌、のどの乾燥を感じだけでなく、ウイルスが活動しやすくなります。反対に60%以上になるとダニやカビが発生するようになります、日々気を配るようにしています。

感染症拡大防止の観点から、空気清浄機を導入しております。

また、冬季は暖房効率を上げるため加湿器を使用しています。



エコドライブ

環境省によると緩やかな発進を意識する事で約10%程度燃費が改善されるそうです。
社員への教育や、毎月月初に車両点検の実施と定期的な整備会社での点検なども実施し全員が安全でエコな運転ができるように活動しています。



シュレッダーの活用とリサイクル

弊社では、環境保全への取り組みとして『紙ごみの資源化』に積極的に取り組むべきという思いから、機密文書についてはシュレッダーで細断し古紙としてリサイクル工場へ排出しております。
少しでも、焼却ごみを減らすために今後も務めていきたいと思えます。

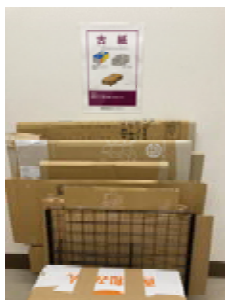


省資源化を目指して！

クラウドを活用し文書の電子化を進め、打合せや会議時にMAX-HUBを利用しペーパーレス化に取り組んでいます。

印刷物を作成する場合は、必要最小限の量になるよう考慮し、両面印刷や裏紙活用に心掛けております。

また、ゴミの分別方法をPOP掲示し一般廃棄物の削減と、リサイクル活動を意識し活動します。



日射侵入防止でエネルギーの節約！

エアコンの冷房を同じ温度に設定しても温度の高い部屋は、その分だけ負荷がかかるため動力を多く消費します。日射防止を設置することで夏場の日差し・室内の気温を和らげることで省エネ効果UP！です。





お部屋と心がスッキリ!

認定NPO法人”世界の子どもにワクチンを”日本委員会を通じて開発途上国の子どもたちにポリオワクチンが届けられ、一口につき5人の命を救うことができます。

弊社では、リニューアルになった作業服の在庫や、社員より回収した着古した作業服・事務服を活用しております。



カーボンオフセット 低炭素社会支援活動

弊社では、環境貢献への取り組みの一環として、『岩手県県有林J-VERクレジット』
『岩手県一関市市有林のJ-VERクレジット』を購入し森林づくりに参加しております。

一関市市有林 J-VERクレジット 販売のご案内

クレジットを購入し一関市の森林づくりに参加しませんか

クレジットを販売する一関市の森林づくりプロジェクト

クレジットの購入方法

クレジットの活用方法

クレジットの価格

クレジット額	森林吸収量
1クレジット	634 t-CO ₂
販売単位	1 t-CO ₂
販売総額	12,500 t-CO ₂

クレジットの活用方法

クレジットの価格

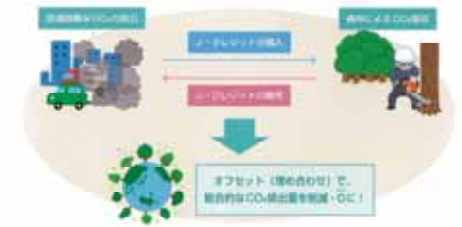
J-クレジットを購入いただいたことによる販売収益は、
岩手県の森づくりに役立てられています。

カーボンオフセットについて

カーボンオフセットとは、削減困難なCO₂等の温室効果ガスの排出量について、削減量に相当した量の削減を別の場所での削減量・削減量に換算し、換算した削減量を、CO₂削減量と見做すことにより、削減量を確保することです。



岩手県では森林の再生による炭素吸収量を削減し、削減量を「クレジット」として販売しています。この「岩手県県有林J-クレジット」を購入いただくことで、削減量を確保し温室効果ガスの削減に貢献することができます。購入による削減量は、岩手県が必ずしも削減できず、さらなる削減に貢献することができます。



【J-クレジット適用の一例】

- 製造業**
 - ※製造業において削減の困難により削減されたCO₂をオフセットクレジットの購入で削減されるCO₂をオフセット
 - ※クレジットの購入に限り削減されるCO₂をオフセット
- 消費者の活用**
 - ※カーボンオフセット商品や商品の販売
 - ※削減削減量や削減削減で削減されるCO₂をオフセット

岩手県県有林J-クレジットの特徴

- ※岩手県県有林が対象に環境に配慮したことで発行されたクレジットです。
- ※岩手県の森林づくりに貢献するクレジットです。
- ※国から認証を受けた信頼性の高いクレジットです。



岩手県県有林で実施したプロジェクトの概要

- 【プロジェクトの目的】**

岩手県で実施した計画的な森林再生によるCO₂削減量をクレジット化し、販売収益を森林再生に還元することで、持続可能な森林経営を推進する。これにより、森林の再生によるCO₂削減量を確保し削減量を確保します。
- 【プロジェクトの概要】**

大田 事業区（盛岡市市内）100ha
大田 事業区（盛岡市市内）100ha
【プロジェクト期間】クレジット発行期間
平成28年4月1日から平成30年3月31日まで
- 【クレジットの発行】**

削減量に基づきCO₂削減量として、3,000 t-CO₂を発行しました。現在は、発行済みのクレジットの販売を行っています。



【 DO 】

6. 環境活動状況

6-2 地域環境活動状況

外部からの苦情

今期のかつどうにおける外部からの環境に関する苦情等はありませんでした。

地域環境活動

今期はコロナの影響で活動を自粛し、環境活動は0%でしたが来期4月に環境整備を予定しております。

予定していたイベントの活動内容紹介

年2回、春と秋に親睦会主催で社屋から旧社屋周辺の環境整備を行っております。
ごみ拾いや、社屋周辺の草刈りなどを行っております。



【 CHECK 】

7. 環境関連法規などの遵守状況

遵守状況の確認

環境関連法規等の遵守状況の評価の結果、全て適合・遵守されていることを確認しました。
なお、環境法規等に関する違反・起訴等ありません。

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	遵守する事項	遵守評価
廃掃法・廃棄物処理法	保管基準の遵守、収集運搬・処分業者との適正な契約、マニフェストの交付・保存・確認・交付状況等報告書の提出	遵守
浄化槽法	保守点検、清掃、水質定期検査の実施 2か月ごとに専門業者による定期検査実施、その結果を確認	遵守
消防法	消火設備、警備設備等の設置及び維持義務	4月実施
家電リサイクル法	特定家電の適切な事業者(家電販売店)への引き渡し	廃棄実績なし
自動車リサイクル法	使用済み自動車の適切な事業者(引き取り登録事業者)への引き渡し	廃棄実績なし
フロン排出・抑制法	フロン使用機器の廃棄時の適正処理、フロンガス漏れの防止と点検(有資格者による定期点検の実施、四半期ごとの簡易点検)、定期的にフィルター掃除	遵守

【CHECK】

8. 環境活動の実績

8-1. 環境活動計画の達成状況

定期的な評価(上半期/全期間)

取組目標	活動内容	活動計画				担当	評価結果
		4~6	7~9	10~12	1~3		
二酸化炭素排出量の削減	電力 使用量	エアコンの設定温度管理_夏季28℃, 冬季20℃ サーキュレータを効果的に活用し空気循環 LED照明への随時取り替え 不要な照明の消灯 不要な電力消費抑制 (未使用時のプリンター, 外出時のPC) クールビズ・ウォームビズの励行	エアコン使用時 常時実行 随時導入 通年実行			営業部	○ ○ ○ ○ ○ ○
	ガソリン 使用量	エコドライブの励行 ・アイドリングストップ ・急発進、急停車の防止等 ・走行ルート、配車計画の合理化 ・不要な荷物の積載禁止 エコカーへの随時入れ替え 月に1回、車両点検の実施	通年実行			安全運転管理者	○ ○ ○ ○ ○ ○
産業廃棄物の削減・再利用・再資源化	電子機械の利用によるペーパーレス化 裏紙利用、両面印刷推進 リサイクル可能な紙類の収集 ・シュレッダーの活用 ・雑紙の分別による一般廃棄物の低減 資材の在庫管理 コア箱の保管管理	通年実行			各部	○ ○ ○ ○ ○ ○	
水使用量の削減	水を出したままにしない 水漏れ点検の実施	通年実行			総務部	○ ○	
自らの改善 の サ イ ト	環境に配慮した工法の提案	設計業務にあたり、環境効果の高い資材や工法の新情報を入手するため、研修や講習会に積極的に参加する エコマテリアル(自然素材・リサイクル資材)使用の提案 現場発生材の積極的な利活用(軟弱土の再利用)	通年実行			設計部	○ ○ ○
	会社周辺の清掃	月に1回、社屋の清掃を行う	通年実行			測量補償部	○
	地域活動への参加	外部からの依頼や要望、市が実施する環境保全に関する施策(イベント)に協力・参加する	通年実行			地質調査部	※1
緊急事態への対応	AED(心臓救命装置)使用訓練 心肺蘇生(人工呼吸)等の訓練 避難訓練の実施 消火器の使い方、保管場所の確認 災害時連絡体制の整備 防災備蓄用品、非常用トイレの順次導入	年に1回			安全衛生管理者	○	

※1 コロナの為活動自粛

日常的に行っている活動

管理	消火設備点検	消火器の使用方法・耐用年数の確認 熱感知器の確認				総務部 精セコム	○
	フロソ定期点検	四半期ごとの点検表を活用し簡易点検の実施 ※ 有資格者による定期点検_3年に1回_日本ビルコン欄に依頼				総務部	○
	社員への周知徹底 意識改革	ごみの排出量の報告 一年分の活動実績の報告 環境活動を促すポスター等の掲示				EA21事務局	○

【CHECK】

8. 環境活動の実績

8-2. 環境経営目標の達成状況

項目	単位	基準年度_2020.4.1~2021.3.31		当年度_2021.4.1~2022.3.31				目標達成状況	
		A		あ		い		い/あ	※2
		実績	CO2排出量	実績	CO2排出量	目標値_基準年比 Δ 1%	CO2排出量	達成率	判定
二酸化炭素排出量の削減	CO2 総排出量		71,342	65,177	70,629	108%	○		
	電力1_東北電力	kwh	22,323.0	11,787	22,670.0	11,811	11,669	99%	△
	電力2_低圧_東北電力	kwh	44,642.0	23,571	38,607.0	20,114	23,335	116%	○
	電力3_盛岡_東北電力	kwh	2,663.0	1,406	2,212.0	1,152	1,392	121%	○
	ガソリン	L	14,581.2	33,828	13,604.0	31,563	33,490	106%	○
	軽油	L	0.0	0	0.0	0	0	-	-
	灯油	L	184.1	458	95.4	238	454	191%	○
	液化石油ガス(LPG)	kg	97.3	292	99.6	299	289	97%	△
産業廃棄物の削減・再利用・再資源化	可燃物	kg	120.0	120.0	118.8	99%	△		
	リサイクル	kg	780.0	880.0	※1	-	-		
	産業廃棄物総排出量	kg	200.0	640.0	198.0	31%	×		
	中間処理量	kg	0.0	0.0	-	-	-		
	うち再資源化量	kg	0.0	0.0	-	-	-		
	最終処分(埋立)量	kg	200.0	640.0	-	-	-		
水削減	水使用量	m ³	189.0	189.0	187.1	99%	△		
自らの改善	環境配慮	-	環境効果の高い資材や工法の情報収集を積極的に行い、エコマテリアル(自然素材・リサイクル資材)使用の提案を行う				実施	○	
	会社周辺の清掃	1回/月	社屋周辺の清掃を行う				実施	○	
	地域貢献活動	2回/年	本社周辺のごみ拾いを行う、地域活動にも積極的に参加する。				※3	-	
管理	フロン定期点検	4回/年	四半期ごとの点検表を活用し簡易点検の実施 ※ 有資格者による定期点検_3年に1回_日本ビルコン欄に依頼				実施	○	

※1 リサイクル排出量(廃紙、シュレッダー、ダンボール、雑誌、新聞、空き缶)に関しては目標を定めないものとする

※2 ○100%~_目標達成, Δ99%~80%_目標の達成に及ばないが、経過観察の必要あり, ×80%未満_目標達成できていない、是正・予防処置が必要である

※3 コロナの為活動自粛

9. 環境活動の取組結果・評価

今期の環境活動の取り組み状況確認・評価と次年度の取り組み内容について会議を行いました。

- 1) 評価者 代表取締役 佐々木 知徳
- 2) 出席者 環境管理責任者、E A 2 1 事務局
- 3) 提出資料 ・環境への負荷の自己チェック表・環境への取り組みの自己チェック表・環境レポート
- 4) 各項目ごとの評価と見直し、それを踏まえた次年度の取り組み内容

電力使用量

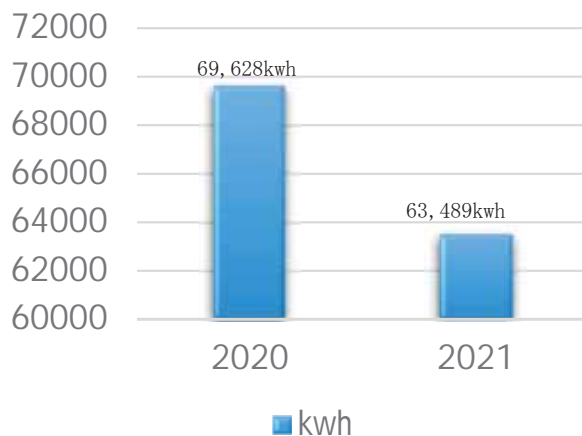
《評価と見直し》

電力1において基準年度使用量を347kwh上回ってしまったが、電力2(低圧)は6,035kwh、盛岡営業所においては451kwh下回る結果となりました。電力1の理由としては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から換気扇の常時運転に伴い、エアコンに負荷のかかる稼働があげられる。電力2の理由としては、土質調査の売上減少によるものかと推測されます。

《次年度の取り組み内容》

引き続き業務の効率化を図るとともに、快適な職場環境を確保する中で電力使用量の削減に取り組んでいきます。

電力使用量の推移



ガソリン使用量

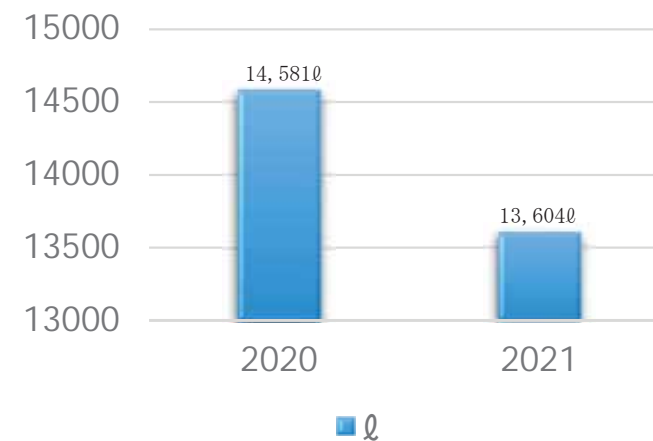
《評価と見直し》

基準年度使用量を9770下回り、達成率は150%となりました。毎月の車両管理者による、車両点検実施率も100%となっております。今後もより一層、環境に良い運転を心掛けたい。

《次年度の取り組み内容》

次期においても、定期的なオイル交換・空気圧点検等安全点検は継続して実施していくものとする。このほか、燃費向上を目指してエコドライブの周知徹底にも力を入れていきたい。

ガソリン使用量の推移



水使用量

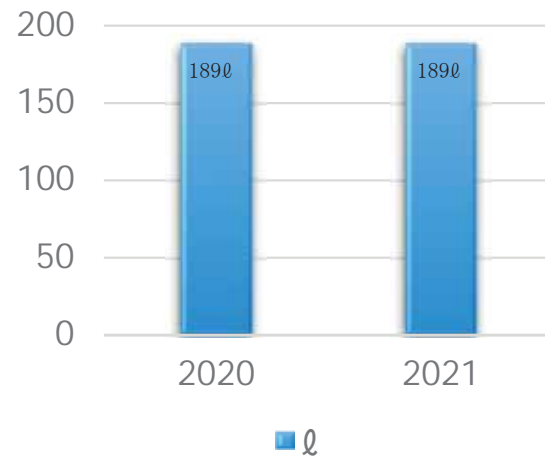
《評価と見直し》

基準年度と同量の使用量となった。
節水に心掛けているが、ウイルス対策として今年度は加湿器の増大し、適正湿度をできるだけ保ち、感染症対策にも心掛けた。

《次年度の取り組み内容》

引き続き、水道メーター・水回りの確認を行い、水漏れなど未然に防げるように注意していきたい。
今後も節水の周知徹底を実施し、全社員の節水意識向上を図っていく。

水使用量の推移



産業廃棄物排出量

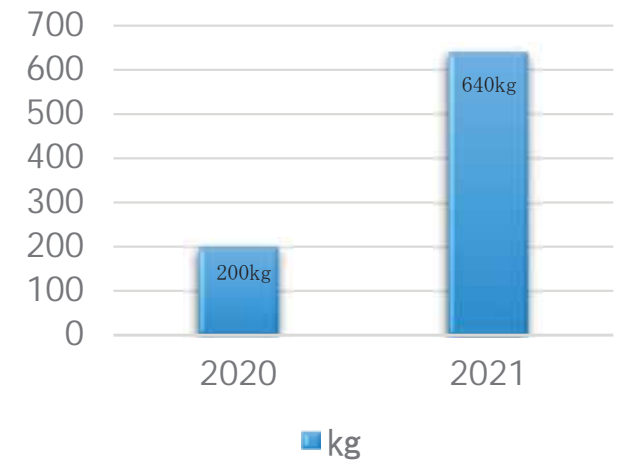
《評価と見直し》

今期は前期から440kg増加した。
原因は前期排出量0kgの木くず(コア箱)の整理整頓を実施し排出量が410kg発生したことが原因である。
※地質調査部による是正予防処置とする
分別の徹底に心掛けた事で前年度よりリサイクル量は100kg増加した。

《次年度の取り組み内容》

今期は目標達成することはできなかったが、まとめて排出せず定期的に片付けの実施し、リサイクルできるものと分別するなど、対策をとっていき

廃棄物排出量の推移



その他の活動

- ・ 月に一度の社屋周辺の環境整備の実施をおこなった。
- ・ コロナの影響で活動を自粛し、社屋から旧社屋周辺の環境整備は行えなかったが来期は活動を再開し、積極的に取り組みたい。
- ・ 予定していた救命救急講習もコロナの影響で延期となり参加が叶わなかったが、来期は環境保全活動等にも積極的に参加していきたい。
- ・ SDGSの取り組みとして「古着deワクチン」「水と森の低炭素社会支援プロジェクト_岩手県1件、一関市1件」を行った。
- ・ 月イチ開催の所属長会議時・各部ごとの会議時に記録等を表とグラフにまとめ、周知徹底・意識改革を目的とした教育訓練を行った。

【 CHECK 】

1.0. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

1.0-1 2022年度環境経営目標

項目	単位	基準年度実績		基準年比 2% 削減		
		2020.4.1~2021.3.31		2022.4.1~2023.3.31		
		実績	CO2排出量		CO2排出量	
二酸化炭素排出量の削減	CO2 総排出量_kg-CO2			71,342		69,915
	電力1_東北電力	kwh	22,323.0	11,787		11,551
	電力2_低圧_東北電力	kwh	44,642.0	23,571		23,100
	電力3_盛岡_東北電力	kwh	2,663.0	1,406		1,378
	ガソリン	L	14,581.2	33,828		33,152
	軽油	L	0.0	0		0
	灯油	L	184.1	458		449
	液化石油ガス(LPG)	kg	97.3	292		286
廃棄物の削減、 再利用・再資源化	可燃物	kg	120.0		117.6	
	リサイクル	kg	780.0		※1	
	産業廃棄物総排出量	kg	200.0		196.0	
	中間処理量	kg	0.0		-	
	うち再資源化量	kg	0.0		-	
	最終処分(埋立)量	kg	200.0		-	
水削減	水使用量	m ³	189.0		185.2	
自らの改善	環境配慮	-	環境効果の高い資材や工法の情報収集を積極的に行い、エコマテリアル(自然素材・リサイクル資材)使用の提案を行う			
	会社周辺の清掃	1回/月	社屋周辺の清掃を行う			
	地域貢献活動	2回/年	ダム周辺の清掃や植樹など地域活動に参加する			
管理	フロン点検	4回/年	四半期ごとの点検表を活用し簡易点検の実施 ※ 有資格者による定期点検_3年に1回_日本ビルコン㈱に依頼			

※1 リサイクル排出量(廃紙、シュレッダー、ダンボール、雑誌、新聞、空き缶)に関しては目標を定めないものとする

※ 電力の二酸化炭素排出係数は、東北電力の0.528(kg-CO2/kwh)を用いた

【CHECK】

10. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

10-2 2022年度の環境経営計画

取組目標	活動内容	活動計画				担当	
		4~6	7~9	10~12	1~3		
二酸化炭素排出量の削減	電力 使用量	エアコンの設定温度管理_夏季28℃, 冬季20℃ サーキュレータを効果的に活用し空気循環 LED照明への随時取り替え 不要な照明の消灯 不要な電力消費抑制 (未使用時のプリンター, 外出時のPC) クールビズ・ウォームビズの励行	エアコン使用時 常時実行 随時導入 通年実行				営業部
	ガソリン 使用量	エコドライブの励行 ・アイドリングストップ ・急発進、急停車の防止等 ・走行ルート、配車計画の合理化 ・不要な荷物の積載禁止 エコカーへの随時入れ替え 月に1回、車両点検の実施	通年実行				安全運転管理者
産業廃棄物の削減・ 再利用・再資源化	電子機械の利用によるペーパーレス化 裏紙利用、両面印刷推進 リサイクル可能な紙類の収集 ・シュレッダーの活用 ・雑紙の分別による一般廃棄物の低減 資材の在庫管理 コア箱の保管管理	通年実行				各部	
水使用量の 削減	水を出したままにしない 水漏れ点検の実施	通年実行				総務部	
自 ら の 改 善	環境に配慮した 工法の提案	設計業務にあたり、環境効果の高い資材や工法の新情報を入手するため、研修や講習会に積極的に参加する エコマテリアル(自然素材・リサイクル資材)使用の提案 現場発生材の積極的な利活用(軟弱土の再利用)	通年実行				設計部
	会社周辺の清掃	月に1回、社屋の清掃を行う	通年実行				測量補償部
	地域活動への参加	外部からの依頼や要望、市が実施する環境保全に関する施策(イベント)に協力・参加する	通年実行				地質調査部
緊急事態への対応	AED(心臓救命装置)使用訓練 心肺蘇生(人工呼吸)等の訓練 避難訓練の実施 消火器の使い方、保管場所の確認 災害時連絡体制の整備 防災備蓄用品、非常用トイレの順次導入	年に1回				安全衛生管理者	

日常的に行っている活動

管理	消火設備点検	消火器の使用方法・耐用年数の確認 熱感知器の確認				総務部 関セコム
	フロア定期点検	四半期ごとの点検表を活用し簡易点検の実施 ※ 有資格者による定期点検_3年に1回_日本ビルコン㈱に依頼				総務部
	社員への 周知徹底 意識改革	ごみの排出量の報告 一年分の活動実績の報告 環境活動を促すポスター等の掲示				EA21事務局

【 ACT 】

1 1. 代表者による全体の評価と見直し・指示

○：できている
△：より良い改善を望む
×：改善が必要

環境経営システムが有効に機能しているか 総評：△

- | | |
|---------------------------|------|
| 1 PDCAサイクルはうまく回っているか | 評価：○ |
| 2 実施体制がきちんと機能しているか | 評価：△ |
| 3 目標の立て方は適切か | 評価：○ |
| 4 環境上の緊急事態への準備及び対応はできているか | 評価：○ |
| 5 取組結果を適当に評価し、次につなげているか | 評価：○ |
| 6 全員で取り組んでいるか | 評価：△ |

環境への取り組みは適切に実施されているか 総評：△

- | | |
|-----------------------------|------|
| 1 環境経営方針で誓約したことが実行されているか | 評価：△ |
| 2 教育・周知徹底は適切に実施されているか | 評価：△ |
| 3 環境目標は適切か、環境経営計画は適切に実施されたか | 評価：○ |
| 4 是正処置は適切に実施されたか | 評価：○ |
| 5 全員の協力が得られているか | 評価：△ |

見直し・指示	木くずの産業廃棄物排出量が増加に伴い地質調査部に是正・予防処置の指示をし、期間中の是正・予防処置は
	1件となります。いままで、シュレッターゴミをリサイクルとして受け付けていたが今後可燃ごみ処理として
	受付なることから、リサイクル受付可能な業者へ排出先を変更とする。

総括	初回という事もあり、なかなか「全員で」というのは難しいが、今後は社員全員で取り組むようにしていくべき
	と考える。産業廃棄物排出量の増加に関しては原因が明確であり、適切な是正・予防処置を実施したと考える。

2022年7月29日
株式会社総合土木コンサルタンツ
代表取締役 佐々木知徳